

新人看護職員研修日記



令和5年度版

当院の研修の特色

★新人看護師研修ガイドラインに沿って研修を実施します。

★夜勤に入る前に患者体験を実施します。

自病棟の空きスペースを利用して一泊宿泊研修を実施します。

夜間の病棟の雰囲気・患者さまが置かれている環境などを疑似体験することで看護師としての倫理観の醸成につなげます。

★学研ナースिंगサポートを利用したオンデマンド研修

入職時に個人IDを配布します。いつでも受講が可能です。

看護部の研修や部署別の研修でも活用しています。

★島根県看護協会の研修やスキルアップセンターでの研修なども取り入れています。



新人職員オリエンテーション

★入職から3日間、新入職員オリエンテーションの実施があります。

その3日間のうち一日は教育委員会主催の

「メンバーシップ研修」

「看護補助者活用推進のための看護者研修」

「医療接遇研修」

「バイタルサイン測定実習」

を実施し、多職種で働くための姿勢・心構えについて学びました。

今年は「地域を知ろう」と題してバス遠足を実施しました。





入職オリエンテーションの一環として病院から車で20分奥地に位置する無医地区へバスで出かけました。

研修レポートより

地域住民の抱える健康問題に対し支えていくことはもちろんであるが、それ以前に生活習慣を改善するための取り組みといった予防医療についても重要視する必要があるのではないかと考える。予防医療に注目して関わることによって医療の必要性の低減及び重症化防止につなげ、無医地区に居住する住民にとってよりよい生活が送れるように尽力することも看護師の役割であると考えた。



研修日記



講義中心の項目

- ★看護必要度について
- ★糖尿病とインスリン
- ★看護診断について
- ★医療安全・感染について
- ★お薬について
- ★輸血について
- ★アナフィラキシーショックについて
- ★SBARについて
- ★褥瘡管理について

認定看護師をはじめ、師長・副師長、薬剤師から講義を受け必要な知識や手技を習得していきます。



当院には糖尿病看護認定看護師・認知症看護認定看護師・感染管理認定看護師が在籍しています

体位変換と移乗編



コツをつかむ
のは結構難し
かったです

配属部署へ行く前に理学療法士さんから体位変換・移乗の基本とコツを学びました。
正しい体位変換・移乗を学ぶことは私たち自身の体を守ることに繋がります。



浣腸・排便編



排泄の援助は患者さまの苦痛を最小限に抑え、羞恥心に配慮し実施することが重要です

院内インストラクターから学びます。講義を受け、デモンストレーションを見学し、実践実習を行います。病棟でのOJTを経て技術習得・自立を目指します。



なかなか難しいなあ・・・

導尿・膀胱留置カテーテル管理編



院内インストラクターから学びます。
導尿や膀胱留置カテーテル挿入は清潔操作が重要です。繰り返し練習することで技術を習得していきます。
そして何よりも大切なのは患者様の羞恥心に配慮することです。自分自身が患者役となり「気持ち」も体験します。

清潔操作難しい～～



羞恥心への配慮は大切だ！！



吸引編

院内インストラクターから学びます
シミュレーションのできる人形を
使って実践練習をくりかえします。

ここを持って、
こうやって



なかなか難
しいなあ



そうそう
そんな感じ

できた！！



注射手技編～静脈注射・採血～

院内インストラクターから学びます。
助言を受け、安全に実施できるよう演習します。



手技だけでなく準備・片付けなども学びます。



シュミレーターを用い何
度も練習を繰り返します。

CV管理・輸液管理編



院内インストラクターから学びます。
様々な輸液の管理、CVカテーテルの管理について動画視聴で場面を想定した対処方法や実際の輸液セットなどに触れながら学習していきます。

筋肉注射・皮下注射編



院内インストラクターから学びます。
助言を受け、安全に実施できるよう演習します。



そうそう
そんな感じ

こうやって部位
を特定していく
んだよ。



正しい部位
はここだよ。



呼吸音・心音を聞いてみよう



院内インストラクターから学びます。
講義を受け、その後、演習を重ね、音を聞き取る訓練を実施します。

音源を用い音を確認し、その後患者の状態を想定してどのような音を聞き分ける必要があるのかアセスメントしていきました。



～研修感想より～
副雑音の種類や患者さんの訴え、痰の増加がないかなど様々な視点で観察することが大切だと思いました。

ME機器について～輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器の使い方～

臨床工学技士から学びます。
実際の機器に触れ、仕組みや注意
点などについて学んでいきます。
臨床工学室へ出向き、たくさんの医
療機器にも触れてみました。



呼吸器チェック
の時に、一つ
一つの意味を
理解して観察
していきたい。



～研修感想より～
実際のME機器をみな
がら操作方法やオー
バーフローをおこす状
況などを詳しく話がきけ
てよかった。



検査データを知ろう ～検体検査について～

臨床検査技師から学びます。
採血管の種類や採取した検体がどのように
検査されていくのかも教えていただきました。



～研修感想より～

- ・ どのような疾患でどの検査値を見るのか学べて良かった。
- ・ 疾患によってどのようなデータが変化するか覚えておきたい。検体の取り扱いも覚えられようにしたい。
- ・ 脱水など症状によって検査データもいろいろな値があり数値をしっかりと見る事が大切だと思った。
- ・ 症状によってどの検査値を見ると良いかまとめてあって分かりやすかった。今後のアセスメントに繋げたい。

栄養管理・褥瘡について

管理栄養士から栄養管理について学び、NST委員から褥瘡管理について学びました。

栄養補助食品を試食したり、栄養評価スケールから褥瘡発生のリスクを考えること、スキンケアや寝具選択の重要性についても学びました。



～研修感想より～

褥瘡の発生リスクについて栄養評価のスケールで考えることができることを学んだ。補助食品の味を知ることができたため今後活かしていきたい。実際に患者が食べている補助食品の味や食べた後の満腹感など今までわからなかった患者の気持ちが少し分かった気がした。患者の栄養面や好みなど多方面から考えていきたい。

シャワーや清拭時に保湿する事で皮膚トラブル予防になることが分かったので実践していきたい。

薬剤の効果や塗布の仕方を詳しく聞けて良かった。

薬剤の効果を知って、なぜその薬が使われているのか根拠を知って処置が行なえるようにしたい

多重課題に挑戦

1年目の2月には多重課題を設定して実践トレーニングを実施します。

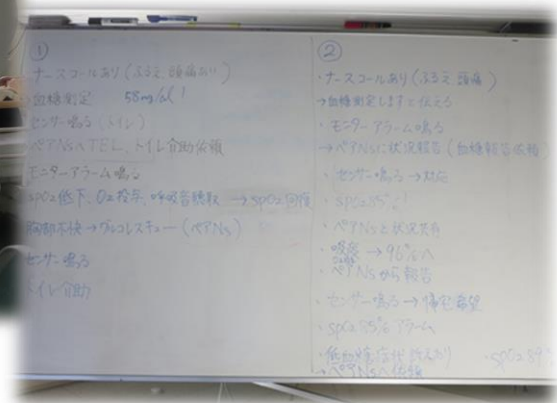
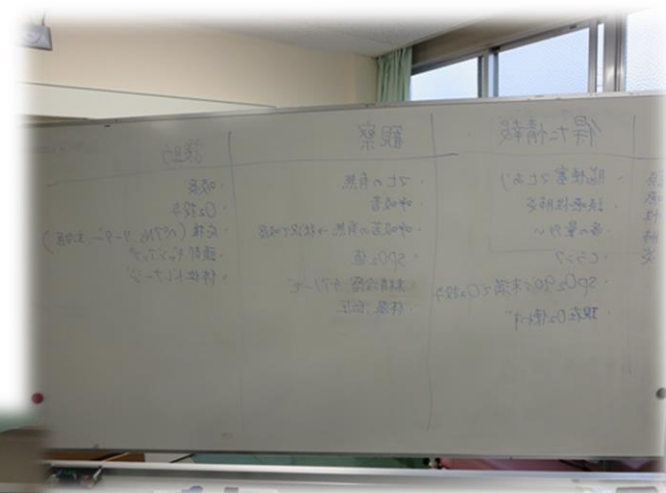
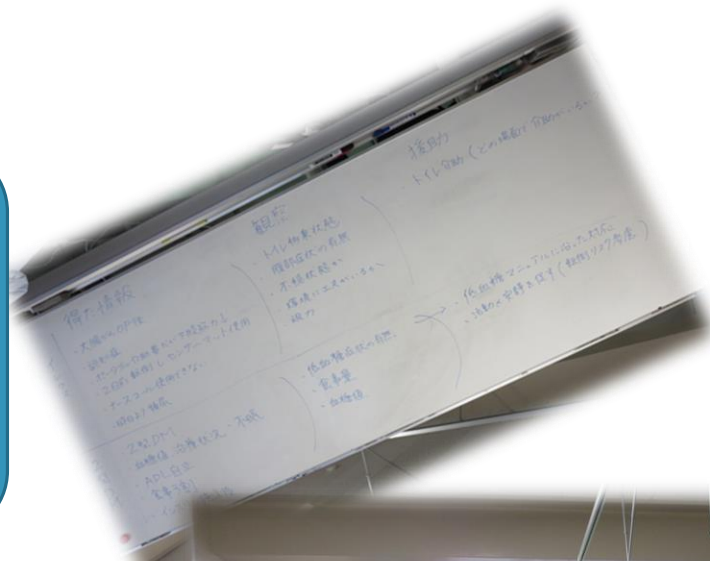
インストラクター作成のシナリオにより、多重課題に挑戦です。

安静度の守れない患者、様々な症状を訴える患者。バイタルサインが不安定な患者…
さあどうする???

患者役はインストラクターです。



最後に振り返りを行います。
その時、何を考え、どのように
行動したのか振り返り、グルー
プワークを実施します。



シミュレーション研修の感想

- ・実際にシミュレーションすることで、より実践的に考えて研修を受けることが出来た。現場でもしっかりコミュニケーションをとって、優先順位を考えた行動が出来るようにしたい。
- ・冷静に対応しようとするがあまり、情報の共有が疎かになる面が多かったと振り返った。観察し、アセスメントし、必要な処置を行う流れも大切にして患者を把握し、他スタッフと協力してチームで業務に挑みたいと考えた。
- ・今回のシミュレーションで、モニターやナースコールが何度も鳴って焦ってしまいましたが、ペアの看護師と共有しながら、多重課題を乗り越えていくことが大切だと思いました。
- ・シミュレーションで、自分がした時と他者がした時と感じ方が違ったので、振り返りもしっかり出来て良かった。

最後に・・・

～夜勤実施前の患者体験の感想から抜粋～

夜間の病棟は、物音や歩く音、ナースコールなど常に何らかの音が鳴っている環境であった。カーテンの外では何が起こっているのか常に気になってしまい気が安らぐことがほとんど無かった。また同じ空間に居続けることによって時間の感覚がつかみづらくなることも感じた。患者が生活する上では生活リズムが崩れやすく、特に高齢者にとってはせん妄の発症率が上がる要因となると感じた。今後は「今何時なのか、どのような状況なのか」という視点も入れて患者に関わっていくように心がけたいと考えた。

看護師の忙しそうな姿、焦って走り回る姿は患者にとって緊張感を与えかねない印象を持った。普段からの行動が患者にどのような影響を与えているのか今一度考えてみて、今後それらを含め、話し方や声掛けにも注意を払って関わっていくようにしたいと感じた。



3月には各部署で心に残った看護場면을リフレクションします。
一年間を通し知識・技術・態度について学び看護観・倫理観醸成していきます。